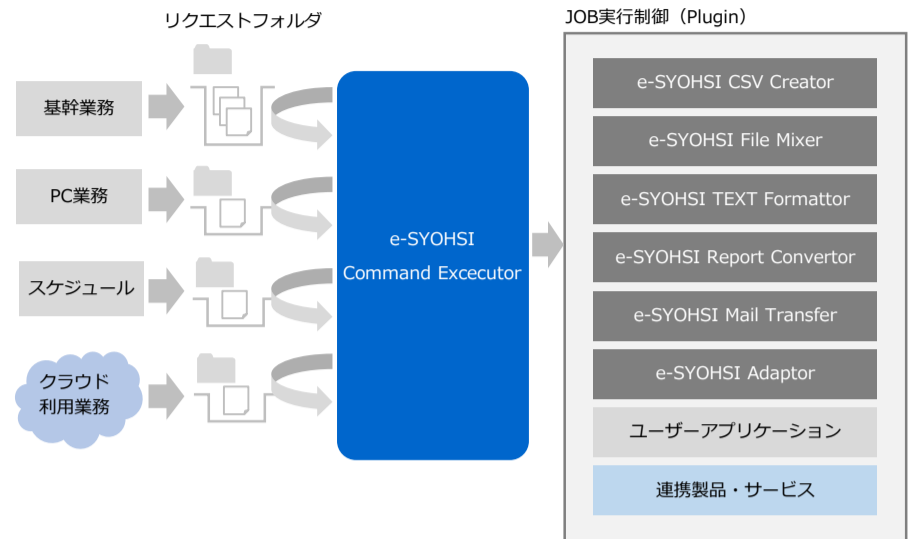


e-SYOHSI Command Executor V3.1 概要

リクエストフォルダ（Windows標準のフォルダ）への到着ファイルをインターバル監視し、流量制御や排他制御のもと任意のコマンドを自動実行するソフトウェアです。
アプリケーションシステムやパッケージソフトウェア等では、実行コマンドでの処理開始や、処理工程あるいは処理完了時にファイル出力をもって終了するといったケースが多くあります。
e-SYOHSI Command Executorは、これら完結する個別システム間の処理連携の課題解決に役立ちます。

ファイル到着を要求イベントとした待ち行列を管理し、システム間の自動連携をスムーズに構築できますので、日々の運用業務への柔軟な適用から処理プロセスの改善、処理履歴の管理に至るまで広く運用効率向上の効果を期待できます。



特徴

■ キューイングからコマンド実行までのシステム管理

リクエストフォルダへファイルを投入するだけで自動的にコマンド実行しますのでシステム間を容易に連結できます。
ファイル到着監視状況、処理待ち/受付/開始状況の表示、完了の確認といった一連の実行処理をモニタリングおよび履歴確認を容易に管理できます。

データファイルを投入するケース

データファイルを投入することで、実行JOB（コマンド、バッチスクリプト）へのファイル引き渡しができます。投入するファイル形式に制限はありません。

トリガーファイルを投入するケース

処理開始のトリガーになるファイルを投入し、JOBの開始を制御することができます。
トリガーファイルにパラメータ制御値等を記述することで、実行するJOBスクリプトに制御値を引き渡すといった形で要求側での制御を柔軟性高くシステム構築するのに役立ちます。

スクリプトファイルを投入するケース

コマンド実行手順を記述したJOBチケット（Windows/バッチファイル）を投入することで、JOBチケットの内容（JOBステップ）を逐次実行することができます。JOBの実行制御を外側から指示する際に役立ちます。

■ パラレル処理とシリアル処理

パラレル処理（並列実行）するリクエストフォルダとシリアル処理（逐次実行）するリクエストフォルダの2種類のフォルダ構成を組むことができます。

パラレル処理では、複数のリクエストフォルダを横断してファイル作成日時の古いものから順に実行します。さらに並行実行数の設定により流量制御を行います。

シリアル処理では、リクエストフォルダ単位でファイル作成日時の古いものから逐次実行します。処理シーケンスを守ることで排他制御を行います。

■ 変数処理

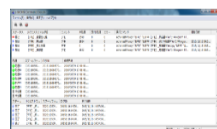
投入ファイル名から値を取得して変数として活用することができます。変数値は、実行ジョブへ引き渡しができますので自由度高くジョブの制御に対応することができます。
上位システムからのジョブ制御は、ファイル名の組み立て次第となりますのでシンプルで分かりやすいシステム構築が可能となります。

■ 流量制御・排他制御

コマンド実行を流量制御・排他制御することにより、処理実行の平準化のもと安定した連続稼働を実現します。

■ 管理画面

リクエストフォルダ監視の開始・停止操作や、実行コマンドの登録、状況確認、結果モニターなど、直感的に運用できる管理画面です。
エラー時の再処理、処理の優先などのオペレーションも可能です。



■ 実行結果の通知

コマンド実行の結果はe-SYOHSI標準ログに記録し、付属のログマネージャー（ログ検索/表示機能）で容易に確認することができます。
実行コマンドにエラーが発生した場合は、Windowsイベントログへの記録も行います。記録ログの内容には、実行コマンドの標準出力/エラー標準出力情報も含まれますので、お客様にて作成したコマンド実行結果の詳細メッセージ等も標準ログおよびWindowsイベントログに出力することができます。また、メール通知機能でシステム管理者等への通知も可能です。

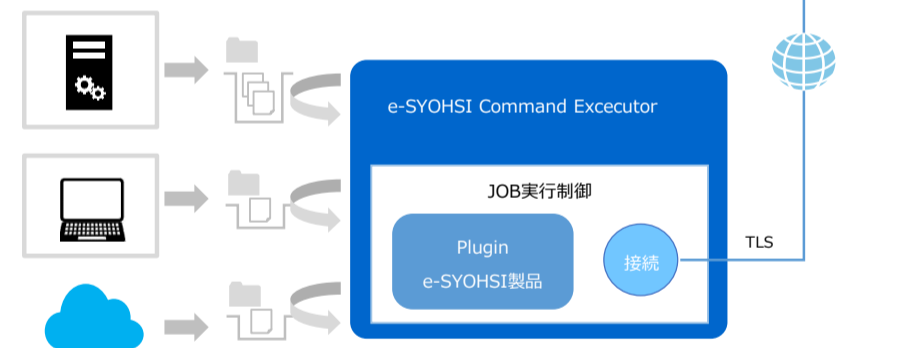
■ 運用コマンド

リクエストフォルダ監視の開始・停止要求のコマンドを活用することで、タスクスケジューラー等を用いた時間制御や、アプリケーションと連動した柔軟なシステム構成を組むことができます。
また、排他的なファイル移送やスリープ処理などのユーティリティも充実していますので目的に沿ったシステムの構築に役立ちます。

活用例

■ クラウドサービスとの連携

社内・社外・取引先への業務情報の伝達方法として、印刷物を配送する、CDやDVDメディアに記録して配送する、電子メールにファイル添付して送信する、FAX送信するといったように様々な方法があります。
インターネットファイル配信などクラウドサービスを活用した方法もその一つです。
例えば、インターネットファイル配信サービスの活用により、セキュアな送達履歴の把握といったトレーサビリティの確保に加え、配送等にかかっていたコストの大幅な削減が実現できます。
e-SYOHSIの制御機能で、基幹システムとの連携によるファイル配信の自動運用、ランダムに作成したファイル類を自動的に束ねてファイル配信するなど運用に即した柔軟なシステム構成が実現できます。



■ 帳票出力のオープン化、電子化、配信

実績と信頼ある基幹系業務アプリケーションへの変更を最小限に留め、帳票処理を従来通り運用しつつ帳票マイグレーションを行う。最小限のコストと期間で実施する帳票マイグレーションでは、印刷データの配置や編集を基幹系に残し、オープン環境で提供される多種多様な安定したソフトウェアとの連携により、繊細なオーバーレイの適用や、PDFファイルへの変換および電子メールへの添付送信、FAX送信などを低リスクでスピーディーに実現できます。

